

県 遭 対 第 13 号  
令和 7 年 11 月 27 日

新潟県山岳遭難防止対策協議会員 様  
市 町 村 山 岳 担 当 課 長 様

新潟県山岳遭難防止対策協議会  
会長 鈴木 康之  
(新潟県副知事)

**クマによるものと思われる登山者死亡事案に関する  
注意喚起について（依頼）**

日頃、本県の山岳遭難防止対策に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

県内では、クマの出没が継続している状況を踏まえ、警戒レベルを維持・継続する必要があることから、令和 7 年 10 月 6 日に発表した「クマ出没特別警報」に基づく「クマ出没警戒強化期間」を 2 か月延長し、最大級の警戒を継続して呼びかけております。

このたび、飯豊連峰胎内口登山道（胎内市）において、11 月 23 日から登山中に行方不明となっていた男性とみられる遺体が、25 日に登山道付近で発見されました。現場周辺ではクマが目撃されており、クマによる被害の可能性が高いとみられています。

つきましては、関係機関・団体に対し、人身被害防止のため、改めて一層の注意喚起を実施いただきますようお願いいたします。

**【被害概要】**

発見日時：11 月 25 日 午前 9 時 30 分頃

発見場所：飯豊連峰 胎内市側登山口から約 1.2 km 地点、登山道付近

死 亡 者：男性 1 名

状 況：顔や首などに引っかき傷や噛まれたような損傷があるほか、発見  
当時に近くでクマ 1 頭が目撃されていた。

担当：新潟県山岳遭難防止対策協議会事務局 (新潟県観光文化スポーツ部スポーツ課) 富樫 TEL：025-280-5951 FAX：025-280-5276 メール：ngt150040@pref.niigata.lg.jp
---